

**B型・C型肝炎  
の検診が行われています**

肝炎を起こす原因はいろいろありますが、アルコールや薬剤によるものと肝炎ウイルスが主なものです。わが国では肝炎ウイルスによるものが多いと考えられています。



**・A型・E型肝炎**

ウイルスの含まれている食べ物を食べたり、飲料水を飲んだりすることによって感染します。症状は発熱、嘔気、嘔吐などで軽いことが多く、あまり心配はありません。

中国、インド、中近東、アフリカ、中米などに多いので旅行の際には気をつけましょう。A型肝炎は日本でも生力キを食べることで集団発生したことがあります。

**・B型肝炎**

出産時に母親から子供に感染する母子感染、性交を介した感染

血や医療器具からの感染などが原因となります。わずかな分量の血液や体液で感染します。

幼児期に感染すると慢性肝炎になりやすく、成人になって感染すると急性肝炎の型になることが多い。

慢性化した時に肝硬変や肝がん移行することがあります。予防接種があります。

**・C型肝炎**

輸血や医療器具などで、かなりの量のウイルスを含んだ血液が入ることによって感染します。

慢性肝炎の型で進行し、30年位たつて、肝硬変、肝がんへの移行することが多いです。

**・D型肝炎**

日本ではほとんどありません。



B型、C型肝炎も新発生は減っています。

**母子感染対策**

輸血、血液製剤の管理の厳密化、医療器具のデイスポーザブル化などにより日本国内でのB型・C型の発生はほとんどなくなりました。外国で医療を受ける時には心配が残ります。

B型肝炎と一緒に感染すると、その病状を悪化させます



**・B型肝炎、C型肝炎の検査を行っています**

C型肝炎は慢性化し、肝硬変、肝がんに移行する率がかなり高く、B型の場合も慢性化すると同じコースをたどることが多くなります。

そこでできるだけ早期に見つけて、治療することが大切になります。

そのため南足柄市では次のように検査を実施していますが、その他の町でも大体同様に行われています。



**・南足柄市のC型・B型肝炎**

基本健康診査時、C型肝炎・B型肝炎ウイルス検査を希望される方に実施しています。

**検査対象者(5歳刻みの節目検査です。)**

- (1) 40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳の方
- (2) 過去に肝機能異常を指摘されたことのある方
- (3) 広範な手術を受けた方または妊娠・分娩時に多量に出血したことのある方で定期的に肝機能検査を受けていない方

検査を実施する期間は、平成10年度から平成18年度の5年間で

**負担金額**

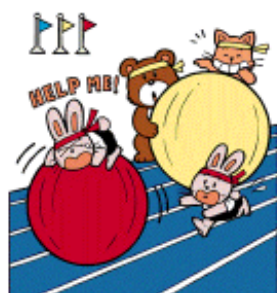
一、二〇〇円(70歳以上の方も有料です。)

院長

**9月・10月の休診日**

(日曜・祭日  
水曜・土曜・第一火曜午後)

E・メールを送って下さい。  
norikazu@tecnet.or.jp



みなさんの質問や投稿を  
お待ちしております。  
受け付けからのお願い  
月初めには必ず保険証を  
受け付けにお出し下さい。  
診察券は毎回お持ち下さい。